

児童アンケート調査より

～アンケート結果より見られる太子町の小学生像～
太子町の小学生に特徴的な傾向が見られた項目について

年度により、調査の対象・手法等に違いがあります。ご注意ください

- H21 全国学力・学習状況調査 H21. 4. 21 実施
- H23 大阪府学力・学習状況調査 H23. 6. 14 実施
- H24 大阪府学力・学習状況調査 H24. 6. 12 実施

1.基本的な生活習慣に関して

太子町の小学生に生活習慣の変化が！

下記の結果から考察すると、本町の児童は、早寝早起きで概ね規則正しい生活ができていることが伺えます。また、携帯電話による電話やメールをしている児童の割合も低い数値を示しています。

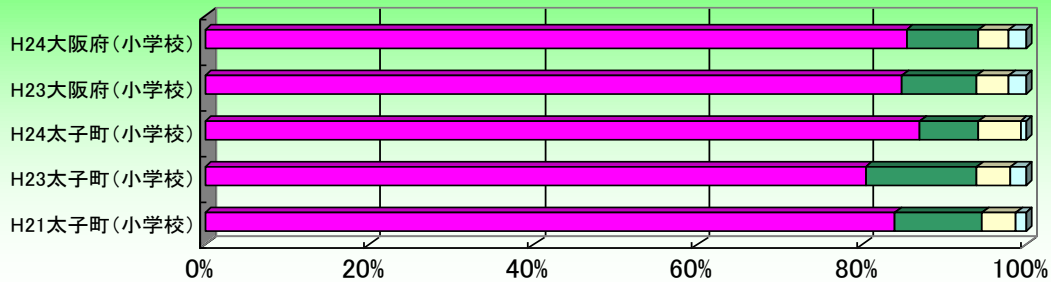


しかし、過去の本町の状況と比較すると、朝食を毎日食べている児童の割合は増加していますが、起きる時刻や寝る時刻が遅くなっています。また、テレビゲームを1時間以上している児童の割合は減少していますが、携帯電話で通話やメールしている児童の割合が増加している傾向が気になるところです。

親子のコミュニケーションなどによって育まれる家庭の絆や、家庭でのルール「早寝早起き朝ごはん」といった生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組んだりすることが大切です。各家庭でも今一度見直す機会を設けましょう。

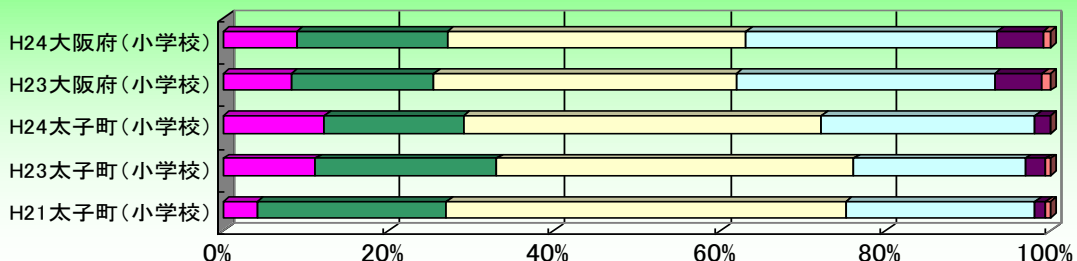
朝食を毎日食べている

■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している □ 3.どちらかといえばしていない □ 4.していない

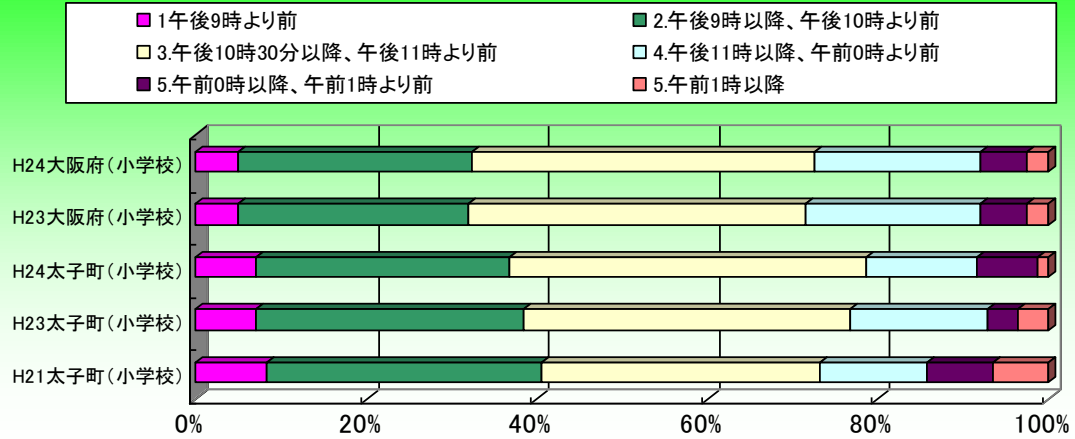


ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか

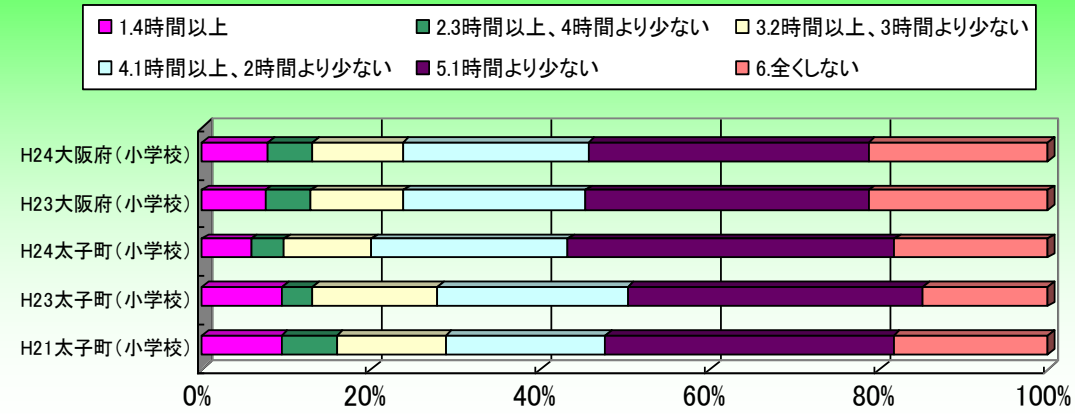
■ 1.午前6時より前 ■ 2.午前6時以降、午前6時30分より前
□ 3.午前6時30分以降、午前7時より前 □ 4.午前7時以降、午前7時30分より前
■ 5.午前7時30分以降、午前8時より前 ■ 6.午前8時以降



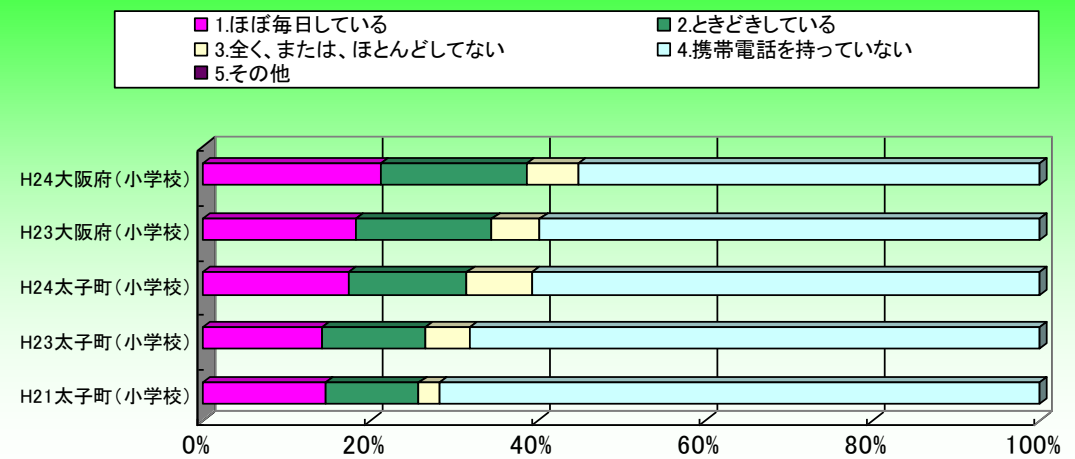
ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか



ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含みます）をしますか



携帯電話で通話やメールをしていますか



2.心の健康状態に関して

向上心が強く、思いやいがある！

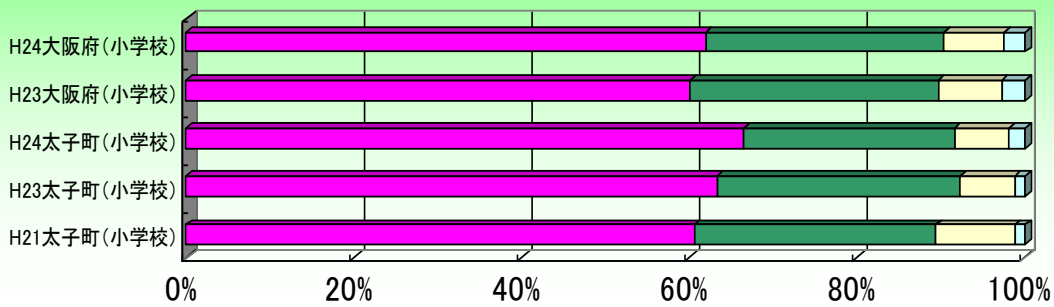
本町の児童は、よくあいさつする方だといえます。特徴的なのは、自分の気持ちをわかってくれる友だちがいると答えている児童や、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が高いことです。日頃から地域を含め、自分の周りの人とのかかわりを持つことが多く、その中でよりよい関係を築いていこうとしている姿が見受けられます。

また、物事を最後までやりとげてうれしかったというような成功体験をしていることが、「みんなの前でもはっきりと意見を言える」、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」という結果につながっていると思われます。

いじめに関しては、「どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童の割合は、大阪府よりも高い数値となっていますが、いじめは、子どもの心と体に、また、その成長に大きく影響を及ぼす重大な人権侵害事象であり、学校・家庭・地域が協働し、子どもと大人「みんな」が総がかりとなって取り組むべき教育課題です。子どもたちだけでなく、教職員をはじめ、子どもに関わる全ての大人自身が、取り組まなければならない問題です。

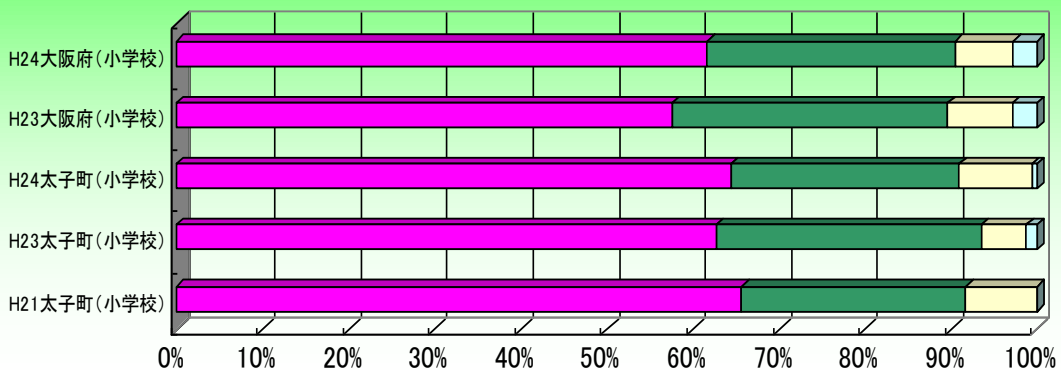
近所の人にあつたとき、あいさつをしている

■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している □ 3.どちらかといえばしていない □ 4.していない



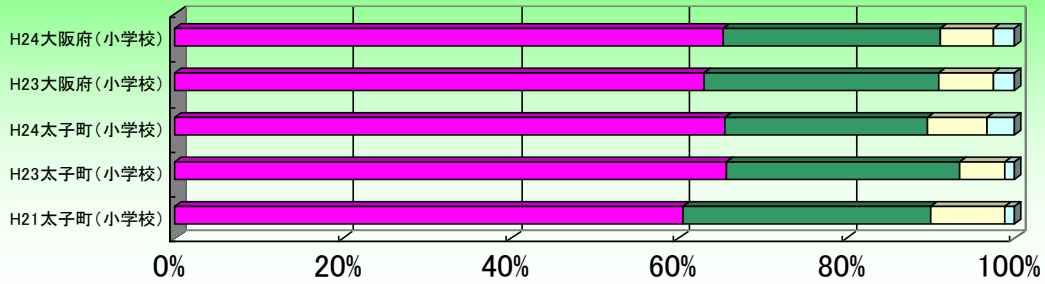
人の役に立つ人間になりたいと思う

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



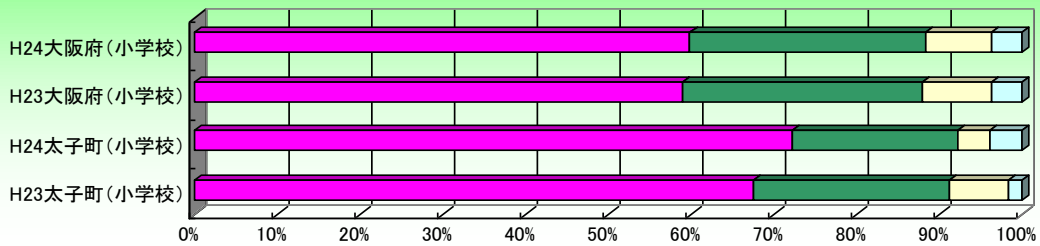
人の気持ちがわかる人間になりたいと思う

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



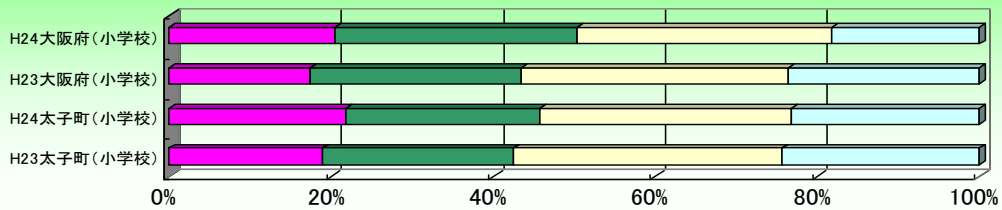
あなたの気持ちをわかってくれる友達がいる

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



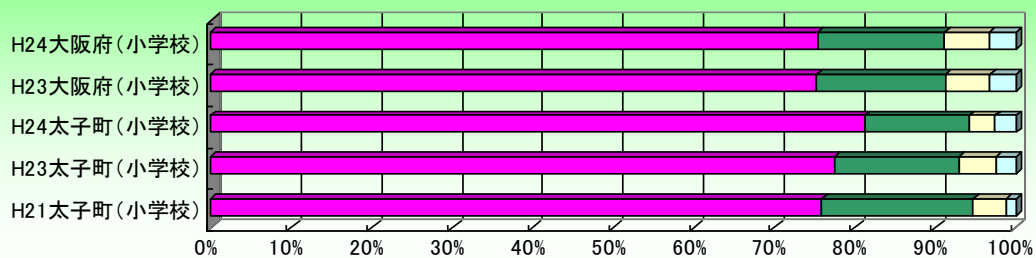
自分はみんなの前でもはっきり意見が言える方だと思う

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



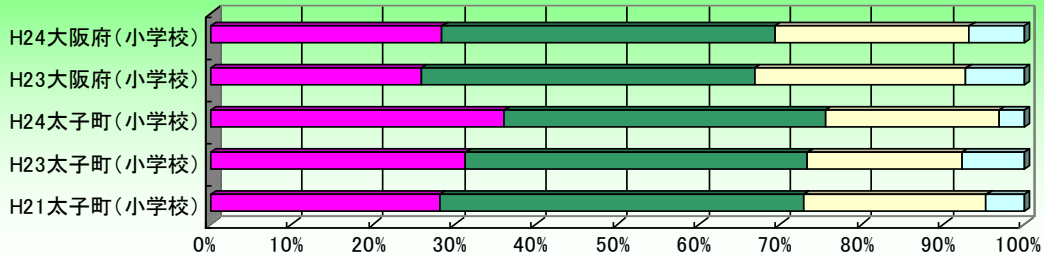
物事を最後までやりとげてうれしかったことがある

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



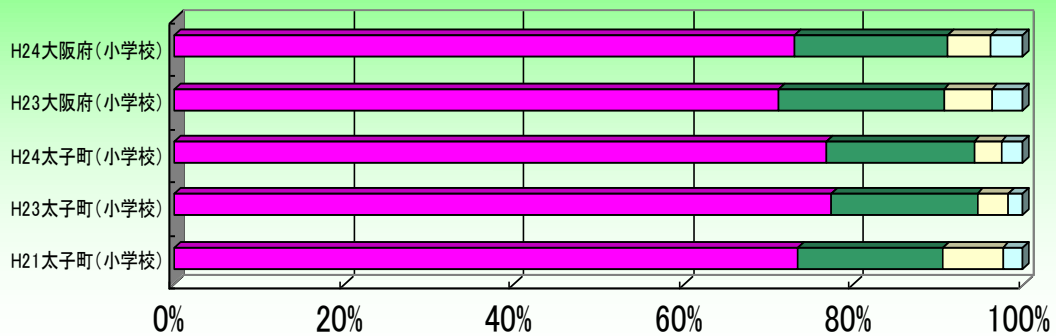
小さな成功体験の積み重ねが、困難な課題に対しても立ち向かっていこうとする心を育てます。学習に取り組むとき、あるいは社会に出たときに基礎となる大事な力です。

また、人を思いやることや、自らコミュニケーションをとっていこうとする態度を育てることは、とても大事なことであり、これからの社会の中で大きな力となります。学校・家庭・地域が一体となって太子町の子どもたちのすばらしい面を伸ばしていきましょう。



いじめは、どんな理由があってもいけないと思う

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



「いじめられる側にもそれなりの理由がある」などということは全くの間違いです。いくら軽い遊びや悪ふざけ、ジョークのつもりでも、いじめられる側の苦しみや痛みは深刻であることを理解させ、いじめることは、人間として決して許されないことであり、いじめをはやし立てたり傍観したりすることも同じである、ということを家庭の中できちんと話し合ひましょう。そして、自分の子どもがいじめをしているとわかったら、必ずすぐにやめさせてください。また、いじめる子の中には、親から暴力や強いプレッシャーを受けるなど、家庭でも学校でも居場所がない子どもが多いと言われます。子どもが楽しめるものを見つけ、心が満たされるように配慮するなど、いじめをしない心の環境づくりをしましょう。



3.学習意識に関して

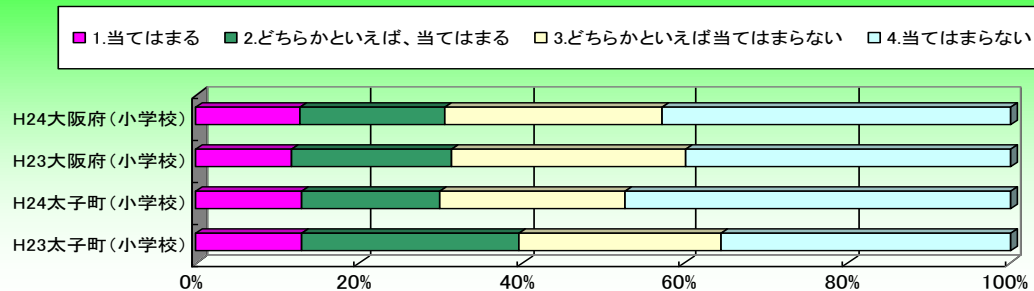
規範意識に変化？互いに思いやり、支えあえる仲間づくりを！

「あなたの学級では、間違っことを発言したときからかわれることがある」と答えている児童の割合に改善が見られました。

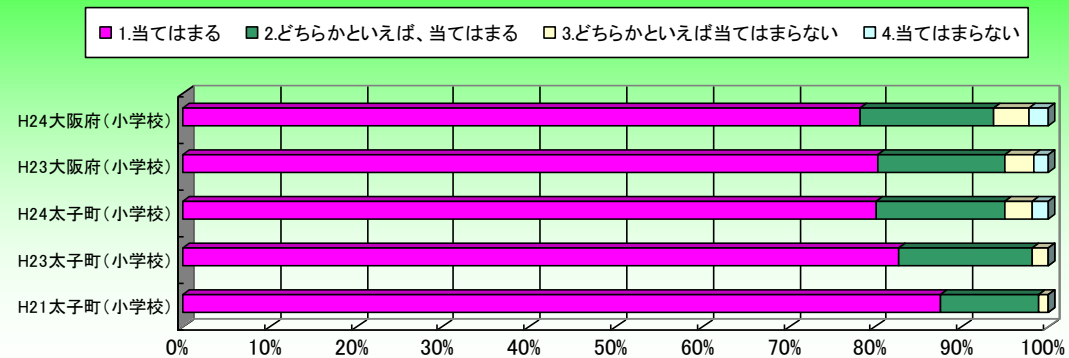
ほとんどの児童が学校に行き友達に会うのが楽しいと答えていますが、少しずつ減少していることが気になります。また、大阪府の平均と比較すると学習規律は維持されている状況がうかがえますが、本町の経年比較では以前より児童の規範意識がやや低下しているようです。

規範意識の向上が学力向上につながります。人への気配りや、互いに認め合い、支えあえる仲間づくりを指導していく必要があります。

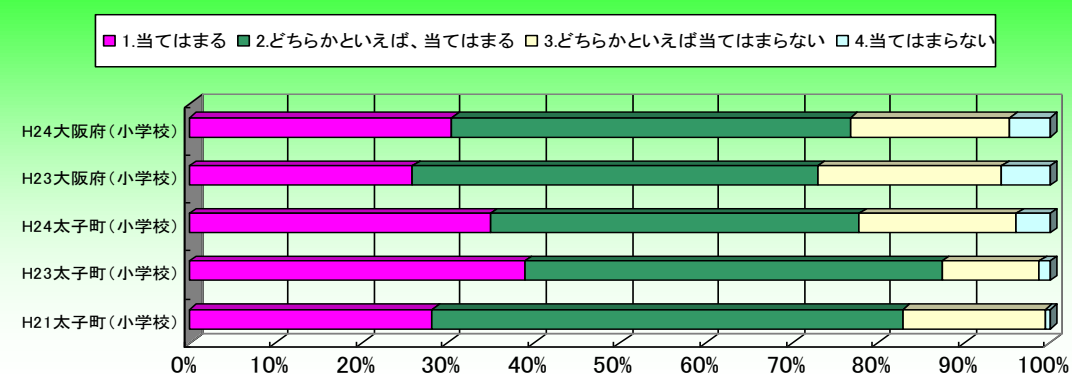
あなたの学級では、間違っことを発言したときからかわれることがある



学校で友達に会うのは楽しい

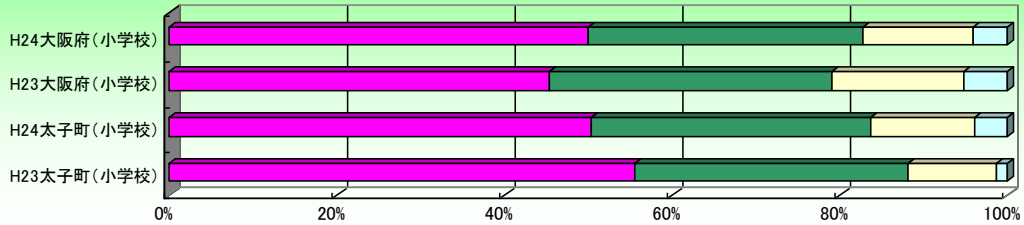


学校のきまりを守ってますか



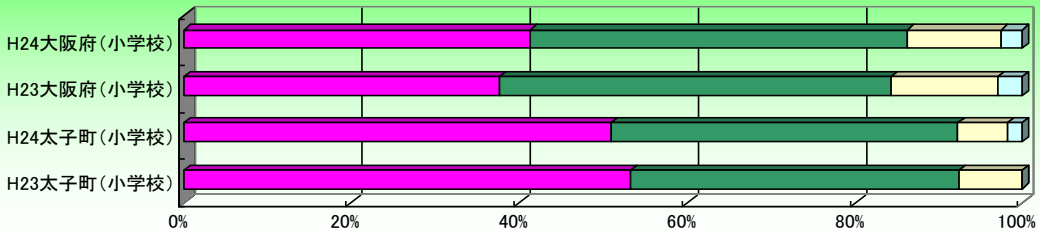
チャイムが鳴ったら席につくようにしている

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



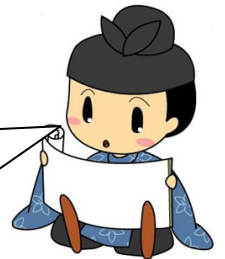
授業や学級会などでは、先生や友達の話をよく聞いている

■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している □ 3.どちらかといえばしていない □ 4.していない



子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。

しつけに一貫性をもたせ、しっかりと身につけさせるためにも、はっきりしたルールをつくり、子どもとともに親もそれを守りましょう。また、子どもの意見を聞いて一緒にルールをつくるという姿勢も大切です。

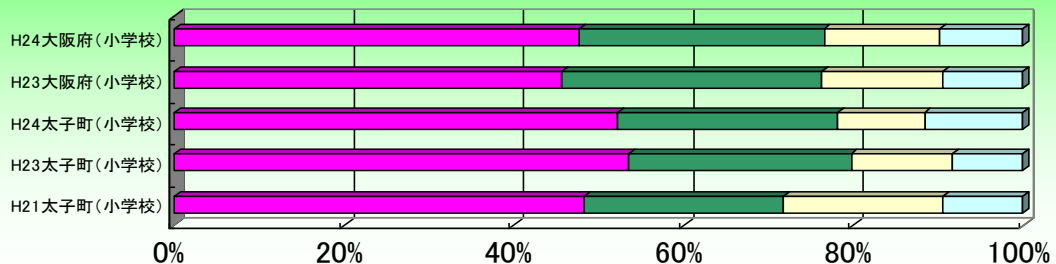


本を読むことが好き！

時間をかけて読書をする児童の割合が増えています。学校での取り組みや、地域の方の協力、家庭での支援が向上につながっているように思われます。読書は、想像力や考える力を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができます。どんどん本を読む子どもを育てましょう。

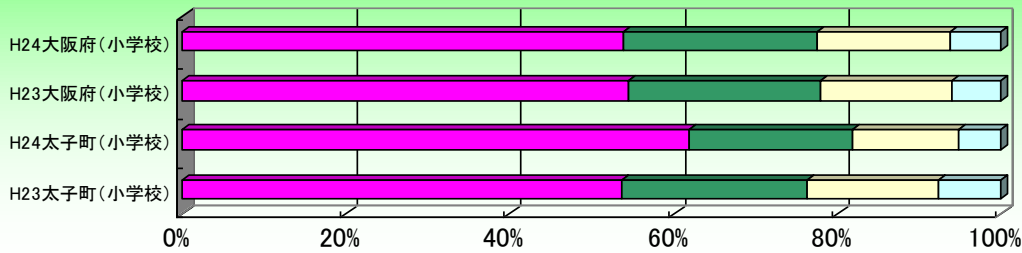
読書が好きですか

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



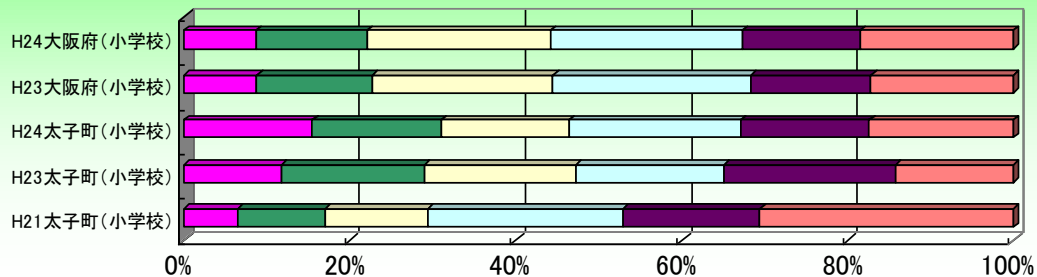
あなたの家の人は、小さいころ、絵本や本を読んでくれましたか

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる □ 3.どちらかといえば当てはまらない □ 4.当てはまらない



家や図書館で、ふだん(月曜から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)

■ 1.2時間以上 ■ 2.1時間以上、2時間より少ない □ 3.30分以上、1時間より少ない
□ 4.10分以上、30分より少ない ■ 5.10分より少ない ■ 6.全くしない



家庭教育は、すべての教育の出発点。家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自己肯定感や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

例えば、毎日の生活の一場面。皆さんのご家庭では、どのように過ごしていますか？

いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。早寝早起きを心がけている。朝ごはんは家族一緒に食べる。学校での出来事などについて、子どもとよく話をする。テレビやゲームの時間などのルールを、親子で話し合っていて決めている・・・。

家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に子どもの心のよりどころとなるものです。

少し立ち止まって、日常の家庭での生活を振り返ってみませんか。

